

中池見湿地の自然復元工事が完了しました ～北陸新幹線建設に伴う環境保全対策の一環として～

北陸新幹線建設に伴う環境保全対策の一環として、鉄道・運輸機構（以下「機構」）が福井県敦賀市の中池見湿地で行ってきた自然復元工事が完了しましたので、完成した施設を機構から敦賀市に引渡しました。

施設引渡し後も、機構では令和9年秋までモニタリング調査を継続し、湿地再生による効果確認を行ってまいります。

北陸新幹線の建設においては、ラムサール条約に登録された中池見湿地（福井県敦賀市）に関し、計画段階から専門家、行政、市民を加えた委員会を開催し、建設事業の各段階で環境保全対策を実施してきました。（詳細は参考資料を参照）

今般、中池見湿地の東側の「後谷地区」で行ってきた自然復元工事が完了しましたので、完成した施設を敦賀市に引渡しました。

自然復元工事では、後谷地区において溜池、水田状湿地、河川内氾濫原といった多様な湿地形態を創出しました。環境面での配慮として、自然の流れを再現する蛇行水路の整備、水辺環境の多様性を高める木根の配置等を行いながら、自然復元を進めました。これにより、後谷地区における湿地本来の機能の再生が期待されます。

なお、施設引渡し後も、機構では令和9年秋までモニタリング調査を継続し、湿地再生による効果の確認を行ってまいります。

<中池見湿地における湿地再生プロジェクト完了式>

11月14日（金）、福井県敦賀市の中池見湿地にて、以下の関係者が出席のもと、湿地再生プロジェクト完了式を行いました。

- ・敦賀市 市長、市民生活部長、まちづくり観光部長
- ・機構 北陸新幹線建設局 局長、工事部長、敦賀鉄道建設所長
- ・敦賀市中池見湿地保全活用協議会副会長、後谷湿地再生検討分科会長
- ・株式会社半澤組 取締役

～完了式の様子～



～工事着手前後の様子～

工事着手前の後谷の様子	工事完了後の後谷の様子
 2023（令和5）年12月4日撮影	 2025（令和7）年10月21日撮影
 2024（令和6）年6月27日撮影	 2025（令和7）年8月27日撮影

＜自然復元工事における配慮事項＞

本工事にあたっては、次の点に配慮しました。

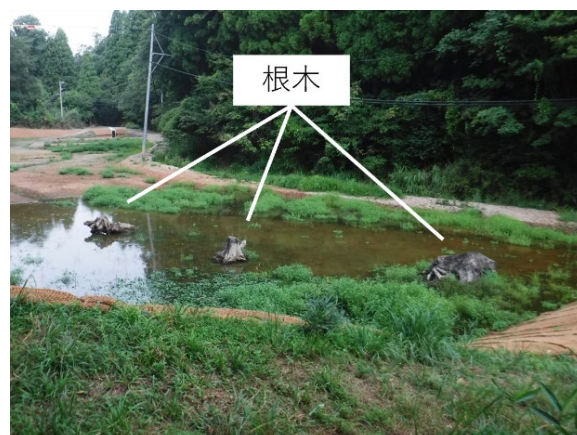
①設計における配慮

- 溜池、水田状湿地、河道内氾濫原を複合した復元形態として多様な利活用を可能とした
- 復元湿地内水路はあえて蛇行させ、氾濫しやすい構造とした
- 中池見湿地エリアでは後谷のみに自生するキクザキイチゲ※¹の自生範囲は、盛土を撤去せずに保護
- 法面部緑化のための植生マットは、後谷の生態系に影響を与えないように自然侵入促進型※²の植生マットを使用



②施工における配慮

- 伐採時に盛土撤去範囲に生息する動物が中池見湿地側に避難できるように、伐採は下流側から湿地側へ向かって実施
- 生物多様性の促進を期待し、盛土から出現した根木を復元湿地内に配置



※1 キクザキイチゲ

キンポウゲ科イチリンソウ属の多年草。

本州の近畿地方から北と北海道地方に分布する。

3月～5月に花を咲かせ、その後は翌春まで地中の地下茎で過ごす。

中池見湿地では後谷の一部にのみ生息する。



※2 自然侵入型植生マット

法面部の保護と緑化のために用いる土木資材の一種。

一般的な植生マットには種子が配合されているが、

中池見湿地の生態系を改変しないため、本工事では

種子を含まず鳥や風によって運ばれた周囲の植物の種子による

植生を促すことができる、自然侵入促進型の植生マットを設置した。



＜本件に関するお問合せ先＞

鉄道・運輸機構 北陸新幹線建設局

渉外部北陸渉外課 木下・吉本

TEL 0776-25-1280

(参考) ラムサール条約に登録されている中池見湿地の環境保全

○北陸新幹線は平成24年当時、中池見湿地の東側を通過する計画とされていましたが、ラムサール条約の登録を受け、中池見湿地の環境を保全するため、湿地の南東部へ迂回することで、環境影響を小さくするようルート変更を行いました。

○水文、動植物の専門家、行政、市民（NGO、NPO等）を加えた委員会を計画段階から開催し、多角的な意見交換や迅速な意思決定、情報の透明化を図ったほか、国内初の環境管理計画を策定し、環境影響の適切な回避・軽減・代償措置を建設事業の各段階において実施しました。さらには継続的なモニタリング調査を行って湿地環境への影響の評価を行いました。

○これらの継続的な取組みにより、北陸新幹線の建設に伴う中池見湿地への影響最小化を実現しました。このことが環境保全に向けた画期的なプロジェクトと認められ、令和5年度土木学会環境賞を受賞しました。（https://www.jsce.or.jp/prize/prize_list/3_kankyo.shtml#s2023）
具体的な取組内容や関係者のインタビューについてはYouTubeにて紹介しておりますので、是非ご覧ください。



北陸新幹線ルート図



中池見湿地の多様な動植物相